

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	排泄介助時の支援は尊厳やプライバシーに細心の配慮を行うとしているが、日常の業務において離れた位置からの声掛けなどプライバシーに欠けること。	高齢者虐待と身体拘束について知識を習得し、権利擁護に向けた取り組みが実施できる。個々のプライバシー・尊厳の配慮。	研修等を設け資料配布によりレポートの提出等を繰り返す事で介護職の意識を向上させる。又、全体会議や部署会議でも意見交換を行っていく。	12ヶ月
2	40	日々の食事は皆一緒にして頂いているが、もっと食に関心を持って楽しく食事に向かっていたきたい。	食事に関して、提供されたものを摂取することの繰り返しであるが、個々の思考を伺い嗜好品を提供することにより、食事を楽しんで味わっていただく。	個々の嗜好品等をアンケートにて確認し、提供できるように努める。又、ご利用者様のレクリエーション活動として一緒に作れる食のイベントが実施できるように努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。